

平成25年度事業計画書

財団法人 日本吟剣詩舞振興会

平成25年度事業計画

1. 方針

平成25年度は、近年の景気停滞にともなう基本財産利息収入の減少と、これを補う資金の不足のため、前年度同様、経費の削減をはかるとともに、振興事業（発表会開催、会報発行、教材頒布事業など）の実施にあたっては、採算並びに収益を重視して行うものとする。

事業としては、吟剣詩舞の発表大会、各種コンクール並びに講習会の実施といった恒例の主要行事を充実を図ると共に、視聴者の減少が著しい衛星回線を利用した番組の配信（レジャーチャンネル「吟剣詩舞の世界」）事業は、配信事業会社と調整した上で、年度内に終了すると共に、吟剣詩舞普及用パンフレットの作成頒布を行うものとする。

また、恒例事業の内、採算が悪く大幅な赤字継続事業であった全国吟剣詩舞道大会は、会場使用料並びに舞台設営費等が高くつく、日本武道館での開催を中止し、採算がとれる都市ホール開催に変更して開催するものとする。都市ホール開催の初年度となる本年度は、東日本大震災被災県の一つである福島県郡山市の誘致活動を受け、平成26年2月23日（日）、郡山ユラックス熱海・多目的ホール（3,000人収容）で開催するものとする。

ほかに事業内容で前年度とかわる点は、本年度は隔年実施の全国剣詩舞群舞コンクールが行われる年度であり、剣詩舞指導者対象の講習会（剣詩舞道大学）の開催は行わない。

2. 事業計画

(1) 一般事業

① 組織化促進事業

全国地区連絡協議会代表者会議の開催を行う。

② 協力援助事業

優秀団体の行う行事に対する協力及び援助を行う。

イ. 傘下団体の行う行事に対する協力援助

ロ. 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門発表会に対する協力援助

ハ．青少年への吟剣詩舞育成推進のための協力援助

③ 研究会開催事業

吟剣詩舞に関する各種研究会の開催を行う。

イ．吟詠専門委員会の開催

ロ．剣詩舞専門委員会の開催

④ 功労者表彰事業

平成25年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考と表彰を行う。

(2) 普及事業

① 海外普及事業

吟剣詩舞の海外普及状況調査並びに国際親善交流事業への協賛を行う。

② 広報活動事業

吟剣詩舞の周知宣伝のための広報活動を行う。

イ．インターネットの吟剣詩舞ホームページの運用推進を図る。

ロ．吟剣詩舞の広報に関する団体等との協働推進を図る。

ハ．新聞、雑誌などへの広告掲載並びに掲載誌等の購入を行う。

ニ．吟剣詩舞普及用パンフレットの作成頒布を行う。

ホ．「通信衛星による吟剣詩舞の普及振興」事業は継続実施するも、視聴者の著しい減少等に鑑み、放送事業は9月末日で終了する。

(3) 振興事業

① 発表会開催事業

吟剣詩舞普及のための発表会の開催を行う。

イ．東日本大震災被災地復興支援並びに高松宮妃癌研究基金奉賛・第45回
全国吟剣詩舞道大会の開催

日 時 平成26年2月23日（日曜日）

場 所 郡山ユラックス熱海・多目的ホール（福島県郡山市）

ロ．秋篠宮妃総裁恩賜財団母子愛育会奉賛・平成25年度全国名流吟剣詩舞
道大会の開催

日 時 平成25年5月5日（日曜日・こどもの日）

場 所 宇都宮市文化会館・大ホール（栃木県宇都宮市）

② 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本(既刊図書)の作成配布を行う。

③ 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに教養誌として月刊「吟剣詩舞」の発行を行う。

④ 教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集(テープ及びCD)の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集(テープ及びCD)の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行う。

(4) 日本財団【(財)日本船舶振興会】助成事業

① 事業名「吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催」計画書

目 的

近年、吟剣詩舞が普及するにともない、吟詠、剣舞及び詩舞のそれぞれの分野におけるより高度な技術的向上並びに芸術的向上が要求されるようになった。そこで、吟詠、剣舞及び詩舞の各分野ごとの技術的、芸術的向上を図るための全国コンクールの開催をするものである。これらの吟剣詩舞の普及振興のための各種コンクールを通じて、吟詠、剣舞及び詩舞の技術的、芸術的向上を図り、もって吟剣詩舞の向上に資すると共にひいては日本文化の向上に寄与することを目的とする。

目 標

各コンクールそれぞれボランティアによる大会役員に支えられ県単位の第一次予選、全国7地区単位の第二次予選及び全国大会として決勝、決選大会を行うもので、近年は特に幼少年の育成に力をいれ確実に出場者を確保しているが、これをさらに推し進めたい。また、少壮コンクールにおいては、少壮吟士としての称号を付与するための厳しい審査基準及び年齢制限を設け、吟詠指導者の公の選出機関としての役目を引き続き果たしたい。

事業内容

a. 名 称

- (a) 平成25年度全国吟詠コンクール
- (b) 平成25年度全国剣詩舞コンクール
- (c) 平成25年度全国剣詩舞群舞コンクール

(d) 第42回全国少壮吟詠家審査コンクール

b. 内 容

県単位及び全国7地区で予選を行い、吟詠、剣詩舞及び群舞コンクールは、すぐれた吟剣詩舞道者及び剣詩舞チームの発掘を行うとともに、少壮コンクールは、吟詠指導者の研鑽の場とし、すぐれた吟詠家を選出する公の機関とする。

事業費総額及び助成金等

事業費総額	16,290,000円
助成金	13,030,000円
助成事業収入	3,260,000円(自己負担)

② 事業名「吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催」計画書

目 的

近年、吟剣詩舞が普及するにともない、吟詠、剣舞及び詩舞のそれぞれの分野におけるより高度な技術的向上並びに芸術的向上が要求されるところとなった。そこで、吟詠、剣舞及び詩舞の各分野ごとの技術的、芸術的向上を図るため、指導者を対象にした講習会の開催をするものである。これらの吟剣詩舞の普及振興のための講習会の開催を通じて、吟詠、剣舞及び詩舞の技術的、芸術的向上を図り、もって吟剣詩舞の向上に資すると共にひいては日本文化の向上に寄与することを目的とする。

目 標

全国から選ばれた吟詠の指導者を受講対象者とした夏季吟道大学及び少壮吟士称号保持者の研修を目的とした特別研修会を開催し、吟剣詩舞の現状の把握と一層の芸術的向上を図るとともに、普及振興のための研究討議を行い、吟詠の全国的レベルでの向上と吟詠の芸術的向上を担う少壮吟士の芸術的レベルアップを図りたい。

事業内容

a. 名称及び開催場所

- (a) 平成25年度夏季吟道大学……………成田東武ホテルエアポート
- (b) 平成25年度少壮吟士夏季特別研修会……………成田東武ホテルエアポート

b. 内 容

夏季吟道大学は全国から選ばれた吟詠指導者を、少壮研修会は少壮吟士を対象に開催する研修会で、吟剣詩舞の幹部指導者の養成機関とする。

事業費総額及び助成金等

事業費総額	6,340,000円
助成金	5,070,000円
助成事業収入	1,290,000円（自己負担）

【(2)普及事業】②広報活動事業

ホ. 「通信衛星による吟剣詩舞の普及振興」事業計画書

目 的

近年、吟詠、剣舞及び詩舞の普及については、興味、関心を持ちながら時間的余裕のない潜在的ファンに対し、身近なメディア（テレビ）で啓蒙を図ることが近道であり、また、既存会員の技術の向上を図るためには、全国大会等の中継録画を放映することによる優れた演舞を紹介することが不可欠である。よって、各家庭のテレビを通じて、吟詠、剣舞及び詩舞の魅力を紹介し、吟剣詩舞の普及啓蒙を図るとともに、会員の技術の向上を図ることを目的とする。

なお、本事業は、番組視聴者の減少並びに本年10月以降の通信衛星回線の電波切り換え等の問題から、9月30日迄で放送を終了するものとする。

目 標

a. 一般への普及啓蒙

吟剣詩舞に興味、関心を持ちながら時間的余裕のない潜在的ファンに対し、身近なメディア（テレビ）で吟詠、剣詩舞を紹介し、吟剣詩舞の普及啓蒙を図りたい。

b. 会員の技術の向上

吟剣詩舞の全国大会やコンクールの模様を紹介することにより、全国レベルの吟剣詩舞を紹介し、大会やコンクールに直接参加することができない会員の技術の向上に役立てたい。

事業内容

通信衛星の回線を利用して吟剣詩舞の各種番組を全国に配信するもので、放

映方法及び番組内容は、次のとおりである。

a. 衛星回線番組の放映方法

吟剣詩舞の30分番組（再放送）を、毎日、午前7時00分から7時30分までの時間帯に日本レジャーチャンネルの衛星回線より放映する。

b. 衛星回線番組の放映内容

過去の全国大会の中継録画や、全国大会の企画構成吟ダイジェストや決勝コンクール入賞者ダイジェストなどを鑑賞する番組とする。

c. 衛星回線番組の放送期間

平成25年4月1日から同年9月30日まで

事業費総額

事業費総額 0円（日本レジャーチャンネル全額負担）